

建築環境・設備学にもとづく知見で

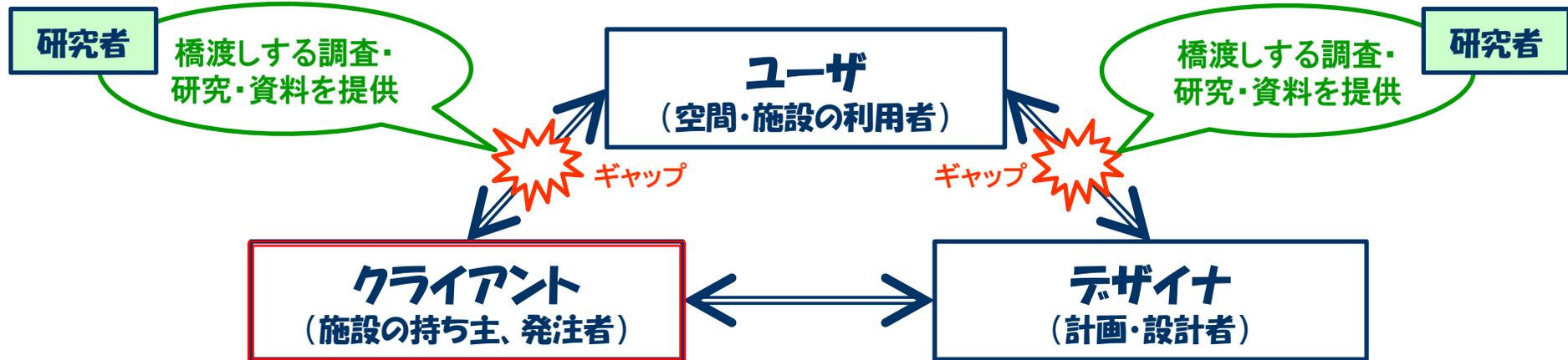
設計者とユーザをつなぐ

建築環境・設備学：快適な環境を“構築”し、“運営”するために、
環境と人の相互の関係を理解するための学問



建築環境・設備学にもとづく知見で 設計者とユーザをつなぐ

目指すべき役割・関係



- 設計者とユーザの間では、対象に対する意識(ニーズや評価)の乖離が生じやすい
- その理由は、ユーザの意見をモニタする機会が乏しいことや、複雑な人の意識、行動を捉えて、設計に反映する負担が大きい

建築環境・設備学における調査・研究によって、ユーザである人間の欲求に適合した快適な環境づくりを目指す！